平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	アイデンティティの社会学(Socilology of Identity)	授業コード	A027301
担当教員名	藪内　聰和、山本　義史、清水　孝子		
配当学年	2	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	映画を視聴しますので、欠席しないようにしてください。		
受講心得	授業中、私語・遅刻・居眠り・飲食・携帯電話の操作をしないこと。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に、適宜指示します。		
関連科目	人間力概論		

授業の目的	社会学は、人間とそれをとりまく社会を研究します。社会学的研究のためには個人と文化の関わりを考察するのが有効です。この授業では、個人のアイデンテンィティの観点から、個人と文化の関係を考察します。アイデンティティ確立のためには、「自分はなにものか」を問い、他人や文化・社会との関わりで「自分はこのような自分である」という一貫した意識をもつ営みが必要です。そこで、この授業では、学生諸君がアイデンティティについて深く考えられるように、様々なアイデンティティの形態を提示することによって、アイデンティティとなにか、アイデンティティと文化・社会の関わりはどのようになっているのかを検討します。
授業の概要	この授業では、映画を題材として、様々なアイデンティティの形態を紹介し、個人と文化・社会の関係を考察します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 藪内担当(第1回～第5回)　オリエンテーション まず、本授業の全体の説明を行った後、藪内担当5回の授業の説明をします。次に、映画「八つ墓村」を視聴します。	
第 2 週 ：「八つ墓村」 「八つ墓村」の残りを視聴します。その後、社会学とアイデンティティの関係の説明をします。	
第 3 週 ：「八つ墓村」の背景と日本文化 映画「八つ墓村」の背景を説明した後、八つ墓村と日本文化の関係を考えます。	授業の最後の30分で授業の内容をレポートとして提出してもらいます。
第 4 週 ： 日本人と「武士道」 日本人のアイデンティティと文化を考えるために、武士道の倫理を説明します。	授業の最後の30分で授業の内容をレポートとして提出してもらいます。
第 5 週 ： 日本人の行動様式 日本人のアイデンテンィティとは何かを考えるために、「村社会」・「タテ社会」等という観点から、日本人の行動様式とはなにかを考えます。	授業の最後の45分を使って評価のためのレポートを書いてもらいます
第 6 週 ： 山本担当(第6回～第10回)　再びアイデンティティとは何か？ まず、担当5回のスケジュールを解説します。実際に、質問紙テスト(心理テスト:EPSIなど)を通して、自分のアイデンティティの確立あるいは混乱(拡散)の程度を測定・自己評価してみます。	実施した質問紙テストと評価の結果を提出します。
第 7 週 ： アイデンティティの社会学からアニメ映画を観る視点 第13回と第14回でアニメ映画を観てもらいます。その際、アイデンティティの社会学から観る視点を提供します。	視点を掲載したワークシートを配付します。次の時間にも使用しますから、忘れないようにもってきてください。
第 8 週 ： アニメ映画視聴 「もののけ姫」のアニメ映画を観てもらいます(80分)。	ワークシートは、次の時間にも使用しますから、忘れないようにもってきてください。
第 9 週 ： アニメ映画視聴	ワークシートは、次の時間

「もののけ姫」の続きを観てもらいます（45分）。残りの時間で、ワークシートをまとめます（40分）。	にも使用しますから、忘れないようにもってきてください。
第10週：グループワーク（話し合いによる協同学習） 4～5名のグループ（メンバーはランダム）に分かれて、各自のワークシートを持ち寄ってミーティングを行い、グループで1つのワークシートを完成します。	各自のワークシートと各グループで1つのワークシートを提出します。
第11週：清水担当（第11回～第15回） 文化的アイデンティティの変遷について 1）日本の戦後から現代まで、それぞれの個人が属する日本社会の日本の文化の「文化的アイデンティティ」が、時代とともにどのように変遷してきたかを説明します。 2）レポートの課題を提示します。「今の自分の生き方（アイデンティティ）をあらわしていると思える歌詞・詩を探し出し、その作品を紹介し、選んだ理由を説明する。」（字数1000字程度、用紙A4）13週に提出し、14週に学生のレポートを発表することを知らせておきます。	授業の終わりに受講生たちに、授業についてわからなかったこと、疑問、意見、感想などを書いてもらいます。それらを次回の授業のはじめに紹介し（学生の氏名は公表せず）、疑問や意見に答えます。毎回の意見メモを出席点として評価します。
第12週：映像資料を用いた講義1回目 「文化的アイデンティティ」が変容する中で、自分らしい生き方という「個人的アイデンティティ」がどのように関わってきたのかを、映像資料をもとに考えます。	
第13週：映像資料を用いた講義2回目 「文化的アイデンティティ」が変容する中で、自分らしい生き方という「個人的アイデンティティ」がどのように関わってきたのかを、映像資料をもとに考えます。	2週連続の映画を使った授業では、ワークシートを2週目に提出させます。また、課題レポートを提出します。
第14週：学生のレポートを発表 学生のレポートを紹介します。学生のレポートを通して、自分と自分を取り囲む社会について考えてもらいます。	ミニ・レポートを書いてもらいます。
第15週：グループワーク これまでの授業を通して、変動する社会・文化の変容を通して、現在の自分の位置を確認してまらいました。さらに、この社会でどのように生きてけばよいのかについて、ある事例をもとに、グループで意見交換してもらいます。	グループワークの終わりにミニ・レポートを書いてもらいます。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	アイデンティティと社会学の関係に関心を持つ。
【知識・理解】	アイデンティティの様々な形態が理解できる。 アイデンティティと文化の関わりが理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	自己のアイデンティティを意識して他人に接することができる。
【思考・判断・創造】	文化・社会との関わりの中で自己のアイデンティティが省察できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**25点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**25点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**25点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**25点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	各担当者から授業中に説明します。
発表・その他（無形成果）	